

# いま求められるコンクリート像

**主催** 一般社団法人セメント協会

**後援** (公社)土木学会関西支部、(一社)日本建築学会近畿支部、(公社)日本コンクリート工学会近畿支部、(公社)地盤工学会関西支部、(公社)日本材料学会、(一社)日本建設業連合会関西支部、(一社)建設コンサルタンツ協会近畿支部、(一社)大阪建設業協会、全国生コンクリート工業組合連合会近畿地区本部、NPO 住宅地盤品質協会

**趣旨** 現在建設業界では、施工の合理化や耐久性の向上等、様々な環境に応じた多様なニーズに応えることが求められています。本セミナーでは、このような状況に対応するセメント・コンクリート関連技術の最近の話題をご紹介します。

●日時 2020年2月6日(木) 9:55~16:30  
 ●場所 大阪国際交流センター  
 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6  
 2階大会議室さくら  
 ●定員 300名(定員になり次第締切させていただきます)  
 ●受講料 1名あたり10,000円(税込)・テキスト代込み  
 ●申込先 受講ご希望の方は、2020年1月27日(月)までに、

- ① 受講申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込ください。
- ② 受講料は「郵便振替」(加入者名):一般社団法人セメント協会、口座番号:00100-1-586562へお振込みください。

また、銀行振込希望の方は、受講申込書一番下の銀行振込に○をつけてお申込ください。

①②を確認のうえ、受講券を送付させていただきます。なお、お申込みされた後にご欠席の場合、セミナー終了後にテキストを郵送致します。

●連絡先 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-4  
 一般社団法人セメント協会 普及部門  
 TEL:03-5200-5060 FAX:03-5200-5062

●CPD 土木学会CPD認定プログラム(JSCE19-1051 5.0単位)  
 ●CPDS 全国土木施工管理技士会連合会CPDS認定プログラム(545831 6unit)

●会場



- ◎大阪市営地下鉄千日前線「谷町九丁目」駅  
10番出口から徒歩6分
- ◎近鉄「大阪上本町」駅  
14番出口から徒歩5分
- ◎大阪市営地下鉄谷町線「谷町九丁目」駅  
5番出口から徒歩7分
- ◎大阪市営地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅  
1番出口から徒歩6分

**講演**

**[開会挨拶]** (一社)セメント協会 コンクリート普及専門委員会 委員長 山田浩司氏 9:55 ~ 10:00

**1** 10:00 ~ 11:00  
**コンクリート施工における生産性向上技術**

少子高齢化に伴う人材不足が顕在化しつつある我が国の建設業界において、建設事業の根幹であるコンクリート施工の生産性向上は喫緊の課題である。ここでは、コンクリート施工の生産性向上へ向けた土木学会や国土交通省などの動向、取り組みについて説明するとともに、最新のコンクリート施工技術について紹介する。

キーワード: コンクリート施工、生産性向上、流動性、機械化

鹿島建設(株) 技術研究所 土木構造グループ 上席研究員 曾我部直樹氏

**2** 11:10 ~ 12:10  
**化学混和剤の変遷と現状、未来**

日本における化学混和剤は戦後間もなく輸入された AE剤【ヴィンソル】が発祥である。その後リグニルスルホン酸、ナフタレンスルホン酸、ポリカルボン酸などの主成分とその機能を活かした化学混和剤が開発されてきた。現在は様々なサブタイプが開発されており、今後はさらに機能を付与した化学混和剤、或いは機能に特化した化学混和剤が開発されていくと考えられる。ここではその一端をご紹介します、化学混和剤の未来を考察する。

キーワード: 主成分、サブタイプ、界面活性剤

コンクリート用化学混和剤協会 技術委員長 玉石竜介氏

**3** 13:10 ~ 14:10  
**セメント・コンクリートの品質向上と技術基準の標準化~建築の視点から~**

鉄筋コンクリート造による良質な住宅・インフラの供給・普及を可能とさせたセメント・コンクリートに関する技術開発とその標準化が果たした役割は大きい。ここでは、近年の社会情勢を踏まえ高度化・複雑化した要求性能・品質に対応する鉄筋コンクリート造に必要な技術とその標準化について、主に建築の視点から概説する。

キーワード: 鉄筋コンクリート造、セメント、コンクリート、要求性能・品質、標準化

建築研究所 材料研究グループ長 鹿毛忠継氏

**4** 14:20 ~ 15:20  
**サステナブルな海洋コンクリート構造物に向けて~耐久性向上、資源循環の観点から~**

サステナビリティ(持続可能性)が近年重要視されている。コンクリート分野においてサステナビリティを実現する主な方策として、耐久性向上、資源循環(リサイクル)が挙げられる。本発表では、海洋コンクリート構造物における耐久性向上、リサイクル材料の適用に関して、著者が所属する港湾空港技術研究所の取り組みについて紹介する。

キーワード: 海洋環境、港湾構造物、塩害、耐久性向上、リサイクル材料

港湾空港技術研究所 材料研究グループ長 山路 徹氏

**5** 15:30 ~ 16:30  
**維持管理時代にコンクリート技術者がなすべきこと**

インフラの老朽化が確実に進んでいる。しかし、現状では予防保全と言える対応ができていないとは言い難い。高耐久な構築のほが、想定以上の劣化に対して後手後手の対応では、少子高齢化時代のインフラは危機を迎える。そこで、インフラの老朽化の現状、予防保全のための点検、診断、補修技術を紹介するとともに、高耐久性のコンクリート構造物とするための要点を述べる。

キーワード: コンクリート構造物、維持管理、点検、診断、延命化技術、高耐久性

近未来コンクリート研究会 代表 十河茂幸氏

**第309回 コンクリートセミナー受講申込書**

●セメント協会普及部門宛 (FAX. 03-5200-5062) にお送りください。

申込日 月 日

勤務先 TEL. - -  
 FAX. - -

業種 官公庁 建設業 コンサルタント 生コン コンクリート製品  
混和剤 学校 セメント その他( )

住所 〒

受講者(連名可)

●業種は該当する□の中に✓印をつけてください。電話番号・郵便番号も必ずご記入ください。  
 ●受講料は 郵便振込・銀行振込 致します。(どちらかに○をつけて下さい。)

右の欄は、受講券等をお送りするための宛名として、当方で切り取って封筒に貼付いたしますので、楷書でご記入ください。

**受講券在中**

□□□□-□□□□

都道府県 区町市郡

殿

●勤務先等も必ずご記入ください。